

事務局：(財) 奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス：gvnc@nifty.com

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/gvnc>

●主な活動の記録 (10月～12月)

10月3日(日) ”里山整備と森の恵みを楽しむ会” 奈良阪元明天皇陵隣接地

奈良市地球温暖化対策地域協議会の主催で開催。同会メンバーである森づくり奈良クラブ(11名) 宙塾(1名) 市役所(2名) 協議会員(2名) 等が運営にあたった。公募による参加者は近くの自治会の家族を含め18家族49名。午後からの雨が心配される故、プログラムを前倒して進行。開会式後、地球温暖化とからめた森の話を聞いて、4班に分かれ竹林整備に入った。切倒した竹は枝を払い、午後からの竹細工・バーベキュー用に切り分け、残りは棚積。続いて栗拾い、間もなく近くの建設会社の土場を借りてバーベキュー焼きの用意をしていた係りから準備が整ったとの声があり、半数が駆けつけた。手間をかけて焼き上げた故、吉野杉のように年輪が整い上々の出来。子ども達は大喜びですっかり食べ切った。残りの半数は拾った栗をゆで、半分に割ってもらったのをおさじですくいながら、おいしそうに食べた。昼食後雨がぱらつき始める中、午前中に切った竹を使い、コップ・花器・貯金箱・食器等を作った。閉会式が終る2時半頃には、雨も本降りとなった。

10月13日(水) まほろばふれあいの森 林内整備

春日奥山地獄谷国有林の一画。19年生ヒノキ林で、下草刈り・枝打ち・除伐作業を7名で実施。成育度合にかなり差があり、枝打ちの目安となるビール瓶の太さに未だいたっていないものも多々ある一方、打つべき枝が手の届かぬところまで大きく伸びたものあり。これらを見極めながら作業を進めた。この時期にはめずらしくヒルの被害にあった者がいた。

10月16日(土) 高取山共生の森整備・保全事業 「緑の募金」中央事業

高取山国有林内「ENEOSの森」で大阪国際石油精製(株)一前身、新日本石油(株)一の社員20数名(女性6名を含め)が参加しての林内整備作業。午前中は除伐・枝払い・もやかき・チェンソー体験(希望者のみ)を、午後は植栽地での下草刈り・ツル切りを当クラブ員5名が指導にあたって作業を進めた。秋晴れの下、日頃の業務からはなれ、ただひたすら木と向き合っって体を動かし、気持がよかったとの感想あり。

10月16日(土) ネイチャーサークル IN 菩提 「森について学ぼう」-緑の募金事業

王寺町教育委員会の主催で、毎月一回土曜日に開催のチャレンジ教室の一環として、同町菩提キャンプ場で行われた。内容は、カレー作り・間伐体験・ハイキング(自然観察)・木工クラフト。当クラブからは、間伐体験・ハイキング・木工クラフトの指導に10名が参加。開会式に続いて、カレー作りの野菜切りの後、参加者10家族30名の半分が間伐とハイキングを交互に45分づつ行った。昼食のカレーでは、体を動かしたので、親子ともおかわりをしていました。昼食後木工クラフトとして「モカールくん」、大・中・小の木の輪切りで動物の顔やマンガのキャラクター作りに挑戦。見本の中のアンパンマンを作ったり、ハイキング中に拾ったどんぐりを利用したり、一人で2つも3つも作る親子も続出。もう少し作りたかったようですが、予定の一時間が過ぎ、閉会。

10月23日(日) NPOエコパートナー21 森林活動指導

奈良阪の県有里山で、代表者にとりなわれ五組の親子づれで行われ、当クラブ員が指導にあたった。まず、おりしも名古屋で開催中の COP10 にちなんで生物多様性と森林の役割についての話しを聞かせてから、竹林整備に入った。切った竹はあとの竹細工に利用するため、それぞれ好みのものを選び、親子力を合わせ竹ノコギリで切りたおし、枝払い・玉切り作業。ついで自然観察を兼ねて栗拾い。先ほど切った竹で作ってもらった竹バシをもって伐を開けて取った。小さな山栗だけに目こらし探していくと結構な収穫。もっと拾いたそうだったがこの活動が午前中と時間が限られていたため、次ぎの竹細工へと皆を追い立てた。見本を参考に、花器・コップ・おしぼり置きづくり等に挑戦。あつというまに昼となり終了。午後、参加者は別途準備されている任掘りへ向かった。当クラブ員は定例活動に合流のため矢田山へ。

11月3日(水) 「第35回全国育樹祭」開催一年前イベント

平城遷都1300年祭で賑わう平城宮跡において、同祭実行委員会並びに(財)奈良県緑化推進協会の主催で開催され、緑化功労者表彰、森の名手・名人の認定、緑の少年団優良賞の伝達、みどりの少年団の活動発表の記念式典に続いて、各種団体が参加しての体験型イベントが交流広場で催された。当クラブでは森の恵みを使つてのクラフトとして、モマルくん・竹笛・どんぐり細工をクラブ員10数名が参加し指導にあたった。好天に恵まれ祝日でもあり、各地から多数の参加者が引きも切らず、材料に限りのあることから予定を早めて終了した。

11月6日(土) 教育林整備活動

奈良北高校グラウンド周辺の杉林の整備を生徒30数名と先生、育友会が加わつての活動を当クラブ員6名が指導した。この活動も8年目に入り、間伐・枝打ち整備が進み、陽が入り風通しもかなり良くなつていますが、あらためて森林作業の流れのあらましを解説し、木登りステップを使つての枝打ち実演後、班別に分かれ作業に入った。選木し交替しながらノコギリで切り倒し、枝払い・玉切り・棚積みを行った。次いでフェンスに繁茂するツルの切り取り、いいツルは次回のリース作りに使うべく巻き取つた。一斑は隣接の安養寺との間に蔓延つたツルの除去をした。場所を替えて、森林環境学習として森林生態系を中心に COP10 ともからめた話しの後、竹工作、花器・獅子脅し・食器他数々の作品が昼過ぎまでかかつて出来上がった。

木登り



枝払い



竹細工



11月7日(日) 県立筒井寮 クラフト指導

各学期ごとに行なつていたクラフト指導、今年は1・2学期はやらずに、この日行われた「なかよし祭」の一つとして「木の葉のお面づくり」をクラブ員5名で指導した。小学生を中心に、その家族を含め200名を超える参加があり、「手話落語」「歌」「コト」、それからボランティアによる「もちつき」、ピクニック方式の昼食など盛りだくさんの内容。10時~14時20分まで開かれ、我々の「木の葉のお面づくり」は12時30分~14時頃まで行った。用意した杓ノキ、プラタナス、ユリノキ、トチノキの葉を二つ折りにしカッターで耳形に切り、目と口をあけ、エノコログサやスキの穂をヒゲに見たててキネなどを、それぞれの子供の発想で作つていた。葉の左右にパンチで穴をあけ、輪ゴムを通して耳にかけ、洗面所の鏡で確認し、満足そうでした。

11月7日(日) エコ・フェスタ 2010 榎原文化会館前広場

エコについての理解を深めてもらうという催し。当日の参加団体の紹介の後、環境先進国ドイツからのゲスト2人のトークがあった。水質・大気・廃棄物・森林保護などの各団体のコーナーで各種の体験ができた。中部農林事務所のコーナーでは、「森林について」のパネル展示を参考にクイズに挑戦した子供達が、当クラブ員の指導で竹笛づくりとモマル君のクワトを実施した。近鉄百貨店前という便利な場所だったので、終日賑わった。

11月11日(木) 松の木除伐 県立平城高校

同校創立時、周辺に植えられた松の木が大きくなり歩道に被さってきたり、一部枯れてきたものもあり、危険なため除伐の要請を受け、6名で作業を行った。安全に伐倒するため、全てチェーンソーを使い、又人と車の通行の安全を期するため同校職員に道路に監視のため立ってもらいながら進めた。手強いものは2台のチェーンソーで引張った。途中ワイヤーが切れるハプニングもあったが10本ばかりを無事に処理した。昼食時、女生徒数人が寄ってきてくれ、軽妙かつ楽しい会話の一時をもった。

11月20日～21日 紀伊半島三県森林ボランティア交流大会

三県持ち回り開催で四巡目・第10回となる今回は当県が当番県。「日本の心の故郷」明日香村で景観保全の森林整備をテーマに開催。約60名が集い、研修地である同村民有林内での開会式に続いて、明日香村森林組合作業班の指導の下、間伐・枝払い・玉切りの技術研修を6班に分かれて行った。木はかなり大きく抜倒に際してはかかり木となること必定にて、今回は全てチェーンソーを使っての引き倒しや、フェリグバナー(木回し)での処理方法を学んだ。材の搬出実習では、二手に分かれてそれぞれ引張りダコで土場まで引出した。最後に村道脇に各県2本ずつのヤマザクラの記念植樹し、標柱を立てこの日の作業を終了。夕食では来賓として副村長・組合長、また指導者を交え歓談後、場所をかえ参加者多数による交流会。参加団体の紹介・意見交換、また若手からの活発な発言もあり遅くまで大いに盛り上がった。

2日目は、長尾氏の「明日香村林業の現況」、荒川氏の「飛鳥から藤原・平城へ」と題しての記念講演と質疑応答後、荒川氏の案内で旧跡を含めた村内観察。随処で同氏の万葉歌の朗詠に耳を傾け、最終地の甘樫丘では明日香村・奈良盆地を一望しながら、皆で童謡”ふるさと”を合唱。昼食をはさみ記念撮影、閉会式、次回開催地和歌山県への横断幕の引継ぎ、決意表明で全ての行事を終了。お互い来年の再会を約しそれぞれの帰路についた。

ワイヤーの取付け



抜倒作業



搬出実習



記念植樹



11月28日 学校林整備 県立北高校・平城高校

午前：北高校生徒・教職員・育友会合わせ約50名が参加。作業内容(間伐・枝払い・玉切り)の説明後、ノコギリを使い交替で作業を体験。一部は隣接の安養寺側のツル切り・草刈り等の整備。この後リース作り用も兼ねフェンスに絡まったクズを切りとった。一息入れてから、森の学習会とクリスマスリース作りを行って昼前に終了。午後：平城高校松の木除伐。道路に被さってきているものや、枯れたものの除伐作業を実施。安全を期しチェーンソーで引き倒すものの、かなり大きなものあり倒した後の整理処理も一苦労。

12月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

30 数名が参加。保管庫新設工事の為の用材として、間伐材を製材し、それを使って基礎枠づくりをし、午後からコンクリートの打ち込みを行った。女性は矢田山自生のクギの実を使っての草木染めを実施。きれいな淡青緑色に仕上がった。午後は引続き保管庫づくりと、残りは炭窯周辺の整理を行った。

特定事業 「緑の募金」公募事業

12月4日(土) 雑木林、12月18日(土) ヒノキ林で実施。いずれも阪原町の民有地。雑木林では、クギとして利用ためのクギ・コナの除伐。ヒノキ林は昨年度より引続いての間伐。樹齢30数年生かつ生育がよいため、かなり大きいものも多く、3名づつに分かれ、ロープ等を使っての伐倒。境界付近では竹が進出してきており、これもかなり大きなものだが除伐。

12月21日(火) 「みんなの森」植樹会 県立奈良高校

同校環境保全・緑化推進プロジェクトチームの企画で、(財)奈良県緑化推進協会からの支援も得て、1・2年生のボランティア、ならびに剣道部・バレーボール部・総務部他からの有志60名強が参加して校内での植樹会が実施され、当クラブより3名が指導にあたった。結構傾斜のあるのり面と内庭にハマモ・ナミズキ・モクシ・キシヤツジ計28本を2~3名のグループにわかれ指導者の指示にしたがって次々と植えていき、ほりおこした土をしっかりと足で踏み固めながら埋め戻し、最後に鳥居支柱を立てこれに杉皮・杉皮で結びつけた。最後に暖かく・甘いぜんざいでエネルギー補給をして解散。

作業開始



腰を据えて



埋め戻し



支柱打ち込み



12月25日(土) 定例活動 総会 矢田山遊びの森

今年最後の活動となるこの日、小雪がちらつく一番の寒さとなったが30数名が参加。午前中はミニ門松づくりをする一方、景観整備のため過去の各種植樹祭を記念して立てた看板の撤去作業を実施。昼はできたての焼きそばを食しながら、一年間の活動を振り返りつつ談笑。午後一番に、NPO法人 森づくり奈良クラブの第2回通常総会を開催。配布された議事次第に基づき、理事長挨拶・議長選出・議事録署名人選出に

- 続き、 第1号議案 平成21年度事業報告
- 第2号議案 平成21年度収支決算報告
- 第3号議案 平成22年度事業計画
- 第4号議案 平成22年度収支予算

につき、事務局よりの説明に対し、二三の質疑の後、いずれも拍手多数で原案通り承認され閉会。最後に料理体験館の清掃、炭窯近辺の整理・清掃をし終了。

＝計 報＝

病气療養中だった平山照雄さんが10月10日逝去されました。障害児施設の支援もされ、優しい人柄から子供達に大変懐かれていました。クラブ指導を通じ交流が続いている県立筒井寮は故人の橋渡しによるもの。ご冥福をお祈りいたします。